

## IV 史跡古津八幡山遺跡歴史の広場

### 1 史跡古津八幡山遺跡保存整備活用事業の概要

#### (1) 史跡・整備概要

古津八幡山遺跡は、弥生時代後期の大規模な高地性環濠集落と新潟県最大級の古津八幡山古墳からなり、弥生時代終末期から古墳時代の移り変わりを示す北陸北東部の典型的な遺跡として、平成17年に国史跡に指定された。現在は平成23年の追加指定を含め、約12haが国指定史跡となっている。

平成17年に公有化、平成18年から史跡整備を進め、弥生時代の高地性環濠集落内の竪穴住居7棟・環濠・土塁・方形周溝墓や前方後方形周溝墓の復元整備が行われている。

平成24年にはガイダンス施設「史跡古津八幡山 弥生の丘展示館」が開館した。また、弥生時代の高地性環濠集落の遺構復元ゾーンが概ね完了したことからガイダンス施設の開館に併せ「新潟市古津八幡山遺跡歴史の広場」として暫定オープンした。

史跡内には高地性集落廃絶後に造られた古津八幡山古墳が築かれているが、第二次世界大戦中や戦後の開墾により古墳本来の姿が大きく損なわれていた。そこで、形や規模・構造、埋葬施設の有無、築造方法、築造年代の解明を主な目的として、平成23（第17次）～25年（第19次）の3か年にかけて確認調査を行った。調査の結果、平安時代以降の削平で埋葬施設は検出することができなかったが、直径60mの新潟県内最大級の古墳であること

や墳丘の築造方法が明らかになった〔相田ほか2014〕。

また、確認調査と併行して、平成24年度には古墳本来の姿に復元整備するために復元整備実施設計を作成した。実施設計の方針としては、墳丘復元を後世にも検証可能とするために墳丘全体に約1mの保護盛土を行い原則として復元のための削平は行わないこと、古墳時代の墳丘・周濠を主に復元整備し、弥生時代の環濠は平面表示とすることとした。平成25・26年にかけて古墳の復元整備工事を行い、平成27年4月中旬に古墳も含めた史跡公園として全面オープン予定である。

#### (2) 施設情報

平成24年4月21日、ガイダンス施設である「史跡古津八幡山 弥生の丘展示館」の開館に併せ、古津八幡山遺跡歴史の広場として暫定オープンした。

新潟市古津八幡山遺跡歴史の広場

ガイダンス施設 「史跡古津八幡山 弥生の丘展示館」

住 所 新潟市秋葉区蒲ヶ沢264番地

（花と遺跡のふるさと公園内）

開館時間 10：00～17：00

休 館 日 月曜日・休日の翌日・年末年始（12月28日～1月3日）

入 館 無料

体 験 無料・有料（表2）

駐 車 場 181台（身障者用3台分）共用

交 通 JR古津駅から徒歩20分（1.6km）

史跡公園

復元竪穴住居はガイダンス施設の開館時間と同じ。広場は通年利用が可能。

管 理 新潟市文化財センターが直接管理。

史跡公園における芝刈り・草刈り、竪穴住居の燻蒸作業や枯れ枝の伐採、園路周辺の草刈り等をNPO法人にいがた森林の仲間の会に委託している。史跡公園では休館日を除き、4～11月は毎日3～4人、冬期間の12～3月は2人ずつ常駐して作業を行っている。

弥生の丘展示館は、平常時は非常勤職員2名と臨時職員1～2名で施設管理や体験学習の指導を行っており、イベント等で来館者が多い時には文化財センター職員も一緒に事業を行っている。



体験学習室（平成25年度花ふるフェスタ）

表1 体験学習メニューと料金

メニュー	単位	料金(円)	所要時間(分)
勾玉づくり	1個 紐付	200	60
管玉づくり	1組4個 紐付	200	60
土器・土偶づくり	粘土500g	100	120
土笛・土鈴づくり		100	60
鑄造体験(銅鐸・銅鏡)	銅鏡1個 紐付	400	30
	銅鐸1個 紐付	900	30
編布(アンギン) 編み	初心者コース カラムシ5g	300	120
	上級者コース カラムシ10g	500	180
鹿角ペンダントづくり	先端部以外1個 紐付	100	60
	先端部1個 紐付	500	15
土器パズル	飽きるまで	無料	10
火起こし体験	-	無料	15
弓矢体験	1人3本	無料	10
石斧体験	疲れるまで	無料	10

表2 平成25年度体験学習メニュー(事前申し込み不要)と参加人数

月	体験学習メニュー		参加者数			
	屋内体験(有料)	屋外体験(無料)	個人	団体	計	1日平均
4	土器・土偶・土笛・土鈴づくり	石斧体験	139	0	139	5
5	土器・土偶・土笛・土鈴づくり	弓矢体験	897	335	1,232	46
6	鑄造体験(銅鐸・銅鏡)	火起こし体験	939	127	1,066	41
7	勾玉・管玉づくり	火起こし体験	1,171	8	1,179	45
8	勾玉・管玉づくり 鹿角ペンダントづくり	弓矢体験	1,309	89	1,398	52
9	土器・土偶・土笛・土鈴づくり	弓矢体験	780	357	1,137	45
10	土器・土偶・土笛・土鈴づくり	火起こし体験	353	66	419	16
11	勾玉・管玉づくり	石斧体験	254	119	373	15
12	鑄造体験(銅鐸・銅鏡)	火起こし体験(室内)	250	0	250	11
1	編布(アンギン) 編み 勾玉・鹿角ペンダントづくり	火起こし体験	287	0	287	13
2	編布(アンギン) 編み 勾玉・鹿角ペンダントづくり	火起こし体験	92	0	92	6
3	編布(アンギン) 編み 鑄造体験(銅鐸・銅鏡)	火起こし体験	238	8	246	10
合計			6,709	1,109	7,818	
平均						27

表3 平成25年度団体種別利用件数と人数

分類	件数	人数(人)
小学校	16	942
各種サークルなど	14	256
行政	8	227
その他	7	202
公民館・自治会・町内会	4	92
中学校	3	40
市政教室	2	70
高校	2	55
研究団体	2	51
合計	58	1,935

表5 平成25年度イベント・体験学習(事前募集)・公開講座参加人数

年月日	内容	人数(人)
2013/4/7(日)	ボランティア養成講座 4	12
2013/4/28(日)	史跡古津八幡山遺跡で弥生時代の稲作体験(田起こし)	13
2013/5/12(日)	史跡古津八幡山遺跡で弥生時代の稲作体験(田植え)	8
2013/5/19(日)	春の植物観察	22
2013/6/2(日)	第12回にいつ花ふるフェスタ(当日受付)	912
2013/6/23(日)	史跡古津八幡山遺跡で弥生時代の稲作体験(田・雑穀島草取り)	15
2013/7/27(土)~28(日)	弥生宿泊体験(雨の為中止)	-
2013/8/18(日)	シンポジウム「蒲原平野の王墓 古津八幡山古墳を考える—1600年の時を越えて—」	265
2013/8/25(日)	発掘調査体験	3
2013/9/8(日)	史跡古津八幡山遺跡で弥生時代の稲作体験(赤米収穫・雑穀島草取り)	18
2013/9/21(土)	史跡古津八幡山遺跡で弥生時代の稲作体験(黒米収穫)	17
2013/9/22(日)	まいぶん祭り(当日受付)	410
2013/10/13(日)	発掘調査体験	16
2013/10/27(日)	秋の植物観察	7
2013/11/9(土)	新潟県遺跡ウォーキング(第4回)「国史跡古津八幡山遺跡と石油の里の紅葉を巡る」	74
2013/11/10(日)	秋の森の味覚体験	17
2013/11/24(日)	史跡古津八幡山遺跡で弥生時代の稲作体験(脱穀・初すり)	8
2013/12/8(日)	里山のクラフトづくり体験	39
2014/1/12(日)	弥生の餅つき(当日受付)	395
2014/3/16(日)	春を探しに行こう(植物観察)	23
合計		2,274

表4 平成25年度団体利用一覧

年月日	団体名	人数(人)
2013/4/17(水)	年金者組合新津支部	12
2013/4/25(木)	矢代田小学校	39
2013/4/30(火)	巻南小学校	83
2013/5/1(水)	阿賀小学校	47
2013/5/2(木)	新潟翠江高校	25
2013/5/9(木)	田上町立羽生田小学校	74
2013/5/10(金)	東石山中学校	5
2013/5/15(水)	庄瀬小学校・茨曾根小学校・新飯田小学校	45
2013/5/23(木)	鶴岡市立羽黒第三小学校	30
2013/5/30(木)	新潟市運動普及推進協議会	50
2013/6/4(火)	新潟市動く市政教室	35
2013/6/6(木)	両川小学校	23
2013/6/6(木)	新潟市動く市政教室	35
2013/6/7(金)	森のようちえん	34
2013/6/8(土)	新潟県考古学会	25
2013/6/9(日)	郷土に親しむ会	25
2013/6/10(月)	湯東南小学校	19
2013/6/13(木)	栃尾公民館寿大学	25
2013/6/21(金)	ふるさと会	16
2013/6/21(金)	新潟市広聴相談課	26
2013/6/23(日)	新潟市歴史博物館ボランティア	21
2013/6/27(木)	新潟小学校	109
2013/7/2(火)	まさご会	40
2013/7/3(水)	新発田市さわやかルーム	10
2013/7/12(金)	結小学校	118
2013/7/19(金)	栃尾公民館 寿大学	20
2013/8/8(木)	大郷地区コミュニティ協議会	30
2013/8/23(金)	新津第二中学校	8
2013/8/31(土)	新潟県立博物館友の会	25
2013/9/5(木)	五十嵐小学校	111
2013/9/14(土)	小須戸地区公民館	21
2013/9/14(土)	箴の会	10
2013/9/15(日)	新潟県点字図書館	12
2013/9/15(日)	NHK学園高校	30
2013/9/19(木)	五泉市立五泉中・川東中・五泉南小・五泉東小学校特別支援学級	27
2013/9/20(金)	東青山小学校	98
2013/9/23(月)	山形県天童市西沼田遺跡公園	20
2013/10/2(水)	小合東小学校	19
2013/10/6(日)	親松ウォーキングの会	15
2013/10/10(木)	サークルすみれ	9
2013/10/10(木)	エイジレス21	20
2013/10/11(金)	西区 山田校区ふれあい協議会	21
2013/10/17(木)	新潟市中学校教育研究協議会社会科部	30
2013/10/18(金)	中部北陸ブロック法人連絡協議会	12
2013/10/25(金)	新発田郷土研究会	26
2013/11/1(金)	目崎会	15
2013/11/2(土)	中村さくら会	15
2013/11/7(木)	早通小学校	40
2013/11/7(木)	全国遺跡整備会議	56
2013/11/8(金)	西区寺尾北自治会	26
2013/11/9(土)	秋葉区役所地域課	25
2013/11/13(水)	駅からウォーキング	74
2013/11/13(水)	秋葉区役所地域課	16
2013/11/14(木)	平島長生会	21
2013/11/19(火)	南浜小学校	26
2013/11/19(火)	西区NPO坂井輪地域学	21
2013/11/20(水)	万代長嶺小学校	61
2014/3/20(木)	アスパークの会	4
合計		1,935

表6 平成25年度入館者数

月	開館日数	来館者数			
		個人	団体	人数	累積人数
4	26日	2,658	134	2,792	36,689
5	27日	5,300	276	5,576	42,265
6	26日	5,735	393	6,128	48,393
7	26日	4,701	188	4,889	53,282
8	27日	2,491	63	2,554	55,836
9	25日	2,183	329	2,512	58,348
10	27日	1,945	152	2,097	60,445
11	25日	2,441	396	2,837	63,282
12	23日	1,803	0	1,803	65,085
1	23日	1,980	0	1,980	67,065
2	15日	751	0	751	67,816
3	25日	1,624	4	1,628	69,444
合計	295日	33,612	1,935	35,547	

## 2 教育普及活動

### (1) 展 示

弥生の丘展示館は、鉄筋コンクリート1階建て、床面積430㎡で、展示室180㎡、体験学習室118㎡が主な施設である。展示室には古津八幡山遺跡から出土した旧石器時代から平安時代の土器や石器など500点以上を展示するほか、弥生時代のムラの様子を縮尺300分の1の復元ジオラマ模型で再現している。また、展示ケースの壁面には全面に考古イラストレーターの早川和子さんによる復元画を拡大して貼っている。復元画は遠景画と近景画からなり、遠景画は縄文時代・弥生時代・古墳時代・平安時代の4つの時代を同じアングルで描き、古津八幡山遺跡の時代毎の変遷や背後に見える越後平野の移り変わりがわかるようにしている。各時代の近景画には早川さんのほのぼのとしたタッチの人物が生き生きと描かれており、復元画に付けた説明も簡易なものにして、小学生や中学生にも親しみが持てるように工夫している。

また、平成25年度からは歴史博物館から小ケースを2つ借用し、確認調査で新たに出土した弥生土器や古津八幡山古墳出土土器等を展示している。

### (2) 平成25年度の新たな取り組み

8月18日（日）に、シンポジウム「蒲原平野の王墓古津八幡山古墳を考える—1600年の時を越えて—」を開催した。シンポジウムの目的は、平成25年度から始まる古津八幡山古墳の復元整備工事前に確認調査成果を報告するとともに、全国的視野から古津八幡山古墳の歴史的な位置づけを確認することにあった。内容は確認調査報告と、石川日出志氏「古墳出現前夜の新潟とその周辺地域」・菊地芳朗氏「東北からみた古津八幡山古墳」・若狭徹氏「群馬県の大形円墳の動向と古津八幡山古墳」・橋本博文氏「豪族居館の様相と越佐の集落・古墳の状況」・青木敬氏「古津八幡山古墳の築造とその背景」の



発掘調査体験

5本の記念講演とパネルディスカッションである。参加者は265人であった。シンポジウム内容は記録集としてまとめて刊行した〔新潟市文化財センター2014〕。

また、平成25年度から史跡東側に隣接する休耕田（約2,000㎡）を借用し、市民参加で「稲作体験」を実施した。栽培作物は黒米・赤米とエゴマ・ヒエ・シコクビエ・アワ・キビ・タカキビ・ソバ等の雑穀類である。黒米や赤米については、岡山県百間川原尾島遺跡で検出された水田に倣った密植と現在行われている正条植えを行い、両者の収穫量の比較を行った。収穫の際には復元した石庖丁や木庖丁、脱穀や籾すりの際には復元した木臼・堅杵等を使用して、弥生時代の農作業体験も行った。雑穀については様々な種類を栽培したことによって、雑穀の名称と実物の対比が可能となった。雑穀類は試食するほどの収量がなかったが、赤米・黒米は約171kg程の収穫があり、秋の試食体験や正月の餅つき体験等で使用することができた。1年を通して行われた「稲作体験」によって、田植え（播種）・草取り・収穫・脱穀などの農作業の大変さと、苦勞して育てた作物が無事実った時の収穫の喜びを体感できたのではないかと思う。

### (3) 体験学習メニュー

弥生の丘展示館では、個人が来館すればいつでも体験できる事前申し込み不要の体験学習メニューを毎月を決めている（表1・2）。これらの参加者は平成24年度3,250人に対し、7,818人と倍以上に増加している。

概ね10人以上の団体の場合は事前に申し込みをお願いしているが（表3・4）、人数は平成24年度に比べ若干減少している。

この他に、市報やホームページ等で広報して、事前募集して行うイベントを月に1回から2回程度実施している（表5）。（渡邊朋和）

### (4) 入館者数

平成25年度の弥生の丘展示館の入館者数は、35,547人である（表6）。昨年度よりも1,650人増加したことになる。しかし、内訳を見ると、個人入館者は増加したが、団体入館者は減少している。また、入館者の傾向は、昨年度と同様に、団体に比べて個人入館者が圧倒的に多い。これは、弥生の丘展示館が「花と遺跡のふるさと公園」内に立地しており、観光客や他施設利用者が立ち寄ることが多いためである。加えて、春から夏にかけての入館者数が、年間の60%以上を占めている。季節的に入館者が減少する冬季に入館者をどのように増加させるかが今後の課題といえる。（金田拓也）



### 3 古津八幡山古墳復元整備の概要

平成25年度は、古墳の復元整備のためのデータを得るための確認調査（第19次調査）を、平成23年度（第17次調査）・24年度（第18次調査）に引き続き行ったほか、古墳の復元整備工事についても一部実施した。以下、平成25年度の確認調査及び復元整備工事の概要を記す。

なお、第17～19次調査の成果に関しては、平成25年度刊行の『史跡古津八幡山遺跡確認調査報告書—第15・16・17・18・19次調査—』にまとめられている。

#### (1) 確認調査（第19次調査）の概要

第19次調査は、墳丘南西側の周濠北西端の形状の把握及び築造年代を示す遺物の検出を目的とした（38・42・43T）。また、復元整備のための地層把握も目的とした（39～41T、14次調査3T）。調査期間は平成25年6月3日～8月20日、トレンチは計8か所、調査面積86㎡である。

**調査成果** 周濠の北西端の形状が確定するとともに、43Tで周濠が確認できなかったことから、墳丘北側に周濠が存在しないことが判明した。古墳時代の確実な遺物は出土しなかった。

他には、42Tで周濠の覆土を掘り込んで作られた土坑（SK1904）1基が検出された。土坑の形状は楕円形で、長軸1.25m、短軸0.96m、最大深度0.29mを測る。土坑底面は焼土を伴う。遺構確認面は周濠底面から約0.3～0.4m上の周濠覆土であり、現在の約1/3の堆積高である。土坑底面直上の炭化材2点について放射性炭素年代測定を行った結果、西暦900年前後の測定値が出たことから、10世紀前後の時期には周濠は埋まりきっておらず、現在の1/3ほどの高さで開放されていたことが判明した。なお、平成24年度（第18次調査）に墳頂部で確認された方形周溝状遺構と近い年代が推定される。

復元整備のための地層把握を目的とした41Tでは、弥時代の遺物包含層と遺構が確認された。遺物包含層からは弥生土器が定量出土した。

#### (2) 史跡整備

史跡古津八幡山遺跡では、平成25・26年度に県内最大級の古墳である古津八幡山古墳を中心とした復元整備工事を行い、平成27年度に史跡公園の全面供用開始を予定している。

平成25年度は、確認調査後に復元整備工事のための土砂搬入路の設置及び一部搬入を行ったほか、平成23～25年度の確認調査成果による実施設計に基づき丁張りを設置した。また、平成24年度に引き続いて杉の間伐も行った。平成26年度は、引き続き古墳の復元整備工事を実施する予定である  
(相田泰臣)



周濠北西端検出状況（38・42T 東から）

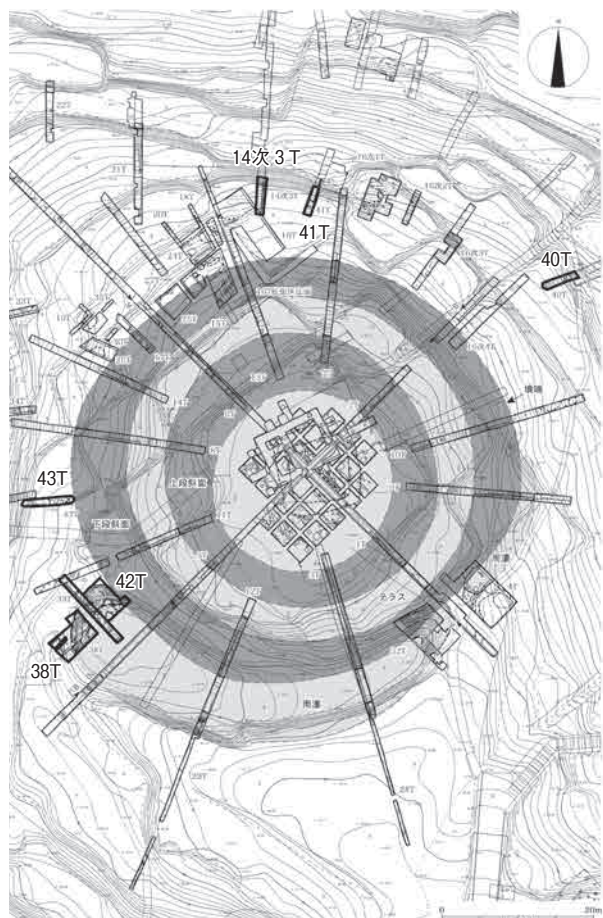


図3 古津八幡山古墳平面図（1/1,000）



丁張り設置状況